



# かわらばん記者がつくる。さがん街なか MAP

かわらばん記者募集中!!



## 怪しい? 懐かしい! ピクピク? ワクワク! 懸念のマーケットにいざ潜入

中央マーケット界隈  
(中央マーケット&呉服元町ビル)

記者  
鹿津の島通り計画中  
伊藤恵子

▲マーケット入口。ロゴも花のイラストも昔懐かしい感じ



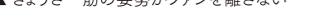
▲なにか一心に見つめる猫の瞳に映るのは?



▲なんと天井に記録が。マーケット協同組合で管理されています



▲精肉店の前を通るとなぜかテンションが上がる人が多し



▲ぎょうざ屋では、お子様にはお菓子のサービスを提供しています



▲マーケットは呉服元町ビルにつながっています

## この街の「ハレの製造所」 - ON THE ROOF -



「ON THE ROOF」は呉服元町に長い間空き物件としてそのままになっていた元呉服店が、リノベーションされて誕生したこの街の核スポット。コンセプトは、「ハレの街をつくるクリエーターが集まる場」だそう。いわばハレの製造所ですね。1Fはインダストリアルな雰囲気が特徴のカフェ「LIFT COFFEE」。その奥にはTシャツプリントの工房もあります。そして2Fは販衣装店とフォトスタジオが併設した「レミネス」。3Fはダンススタジオが入居し、4Fはオフィスです。まさにクリエイティブな街が際立つ面白いビルです。まずは1Fのカフェでも足を運んでみては?

### 【フロア情報】

1F : LIFT COFFEE (カフェ)、PRESS (オリジナルTシャツプリント工房)  
2F : Halenohi 呉服元町店 & Reminess (貸衣装、フォトスタジオ)、haletre (フィットネス)  
3F : CARPE DIEM DANCE STUDIO (ダンススタジオ)、haletre (フィットネス)  
4F : オフィス

## PR

### 私という家。

積水ハウス株式会社 西九州支店

記者  
仕事の両立に奮闘中  
閻美貴

積水ハウスの木造住宅があるのをご存知でしょうか? 木造住宅を科学的視点でとらえ直し、安心を支える強さを徹底追及したのが積水ハウスの木造住宅「シャーウッド」。

このたび当社イエス展示場にシャーウッドコーナーを新設しました。木の強さを最大限に引き出し、強度が安定するシャーウッド構法や、温もりのある陶板外壁ペルバーン等、シャーウッドの魅力をたくさんお伝えできるコーナーとなっております。

この機会にぜひ展示場でご体験ください!  
ご来場にはWEB予約が便利です。

[INFORMATION]  
積水ハウス株式会社 西九州支店  
TEL 0952-29-1161 ● 佐賀市兵庫南3丁目14-22  
● 定休日/火、水曜、祝日 ● 営業時間/9:00 ~ 18:00

ご予約は  
こちらから



# パシフィック 通訳・翻訳事務所

佐賀市駅前中央 1-5-15 モードビル 6F

### 通訳・翻訳

日本語 英語 中国語 韓国語 他

契約書、説明書、各種証明書など多様な文献に対応します。お気軽にお問合せください。

TEL 0952-23-1146  
FAX 0952-23-5011  
pacific.oceanppa.com  
pacific@oceanppa.com



## 長い取り組み

### 127回目を迎える「てらおん」 今年度のラストは11/23(土)



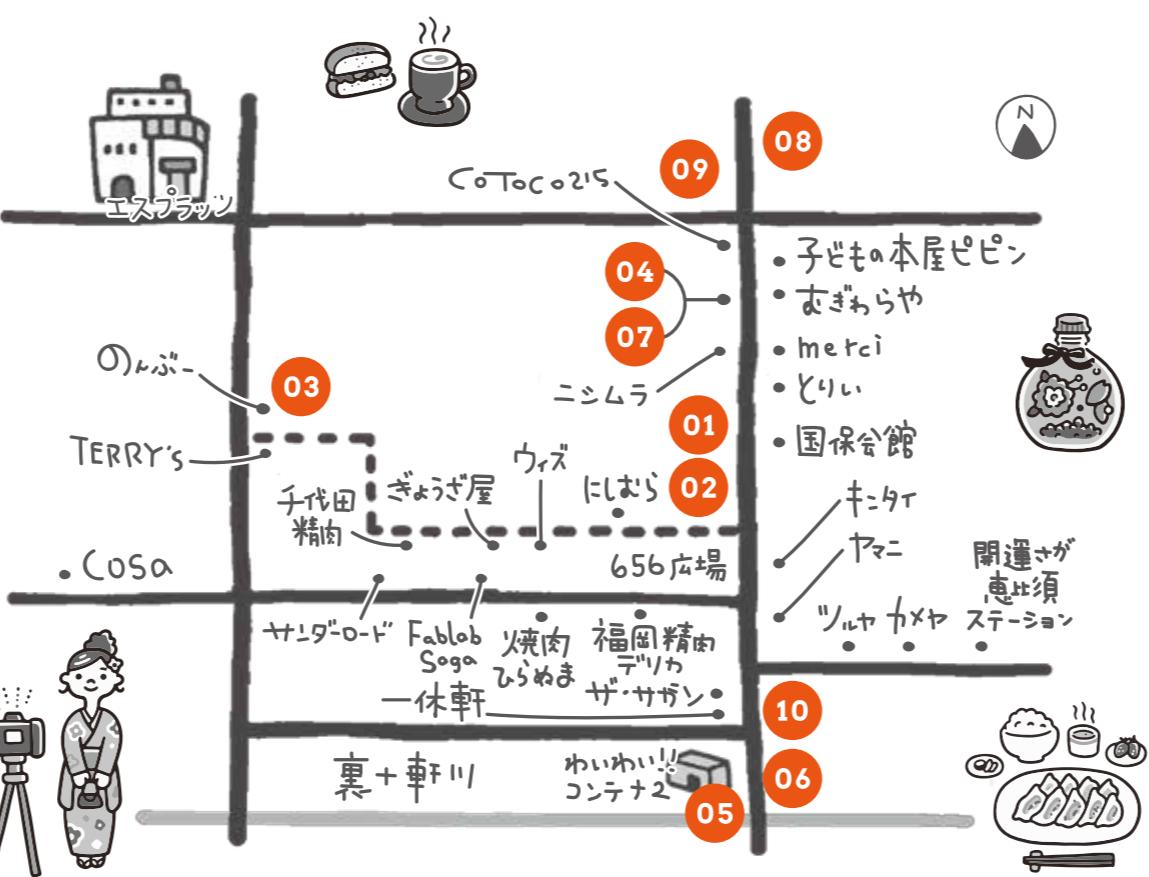
「てらおん」とは、佐賀市のお寺「願正寺」を舞台に、春から秋にかけて毎月一回第四土曜日の17時からお寺の鐘の音と共にスタートする音楽イベント。ご住職からのためになる法話を合間に挟み、呉服元町で長く続いている。11/23(土)開催分でなんと127回目!

[INFORMATION]  
第127回てらおん(11/23(土)16:30開場 17:00開演)  
●出演者/結風(ゆいかじ)、Heartland.MT-Project、熊谷信隆(法話)  
●お問い合わせ/080-6423-8539(おきつ)

かわらばん記者になると…  
ボランティア記者として、取材をきっかけに様々な人のネットワークや、街なかの新情報がゲットできるかもしれません。また参加したいときにだけ気軽に参加できるのが特徴です。詳しくは、「かわらばん編集室」まで。  
問い合わせ/0952-22-7340

## 03 「スタイル ジック」

### かわらばん記者がつくる。さがん街なか MAP



## 05 コミュニティ 施設

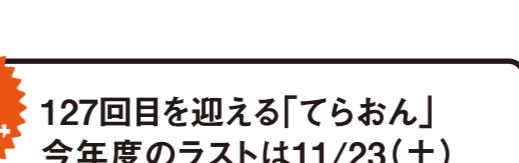
### 『コンテナは今日も、賑やかです』

わいわい!!コンテナ2

記者  
かわいわい!!コンテナ2スタッフ  
宮崎美穂

「わいわい!!コンテナ2って何をする所なの?」とよく聞かれます。スタッフなのに何と答えたら良いのか未だに、返答に困ってしまいます。私にとってのコンテナは、仕事場ではなくもう一つの「いえ・家」ができる感じです。開館前に芝生に水やりをして、掃除をして、なんて過ごしている来館の方がちらほらと…。いつも自宅に招き入れる感覚で「ここにちは!」と声を掛けるようになります。やんちゃな子供たちが騒ぎすぎていたら叱ることもあるし、年配の方が、若い頃のお話をしてください事もあるし、コンテナで親しくなった方とおしゃべりしたり、居合わせた人同士で新しい繋がりができるたり、ワークショップをされる先生の教室を体験させて頂いて視野が広がったり。佐賀の魅力は分かり易く見える形ではありません。でも底力があります。それは人・土地・程よい緩さ。宝ものは身近に溢れています。そんな街なかにわいわい!!コンテナ2はあります。『コンテナは今日も、賑やかです』。

[INFORMATION]  
わいわい!!コンテナ2 090-9586-9445 ● 佐賀市呉服元町2番地内 ● 営業時間/10:00~18:00 ● 定休日/月曜(月曜が祝日の場合は翌日) ● 駐車場/なし ● ワークショップ等詳しい情報はフェイスブックページにて



## 06 SHOP

### ちょっとだけかに自慢したくなる “佐賀”に出会いました

GOFUKU Local & Gift

記者  
鹿とヨーロッパ好きな女子ライター  
茶圓彩

最近、呉服元町は新しいお店が増えつつあり、賑わいを感じますね。今回紹介するのは、656 広場の斜め向かいにお店を構える「GOFUKU」さん。このお店は、オーナーである水田さんと運営に携わる百武さんの「佐賀に関わることがしたい」という思いから、佐賀県産の商品が多数揃っています。私はこのお店を通して「こんなものがあったんだ」と初めて知ったものも多かったです。百武さんによると、「生産者の方の思いや商品が生まれるストーリーを重視しつつ、商品のリサーチを通してまだそれほど知られていないようなものを選んでいる」とのこと。その言葉通り店内にはおしゃれで可愛い、そして誰かにちょっと自慢したくなるような特別感のある品々がずらりと並べられており、木目調の家具と観葉植物がありリラックスできる雰囲気でした(だから私のような1人行動が大好きな人にも優しい環境!)。また、新商品の入荷でディスプレイも度々変化するそう。何か特別なを探している方は是非足をお運びください。

[INFORMATION]  
GOFUKU Local & Gift 0952-37-0743 ● 佐賀市呉服元町8-6 ● 営業時間/平日10:00~16:00、土・日曜・祝日17:00 ● 定休日/水、金曜 ● 駐車場/なし ● 営業スケジュールはインスタグラムでチェック @gofuku\_saga



## 柳町、佐嘉神社、呉服元町 日常の仕事で自然に流れを

Halenohi呉服元町店、  
Reminess(レミネス)

記者  
街なかの愛の伝道師  
庄野雄輔

ON THE ROOF の螺旋階段から二階へ上がり、撮影用のスクリーンが自然と目に入ります。そして隣の通路には色鮮やかな貸衣装がずらっと。ここはレンタル衣装店Reminess。柳町に写真館を構えるHalenohiが2017年にオープンさせたお店です。「元々白山にあったマイントークンの写真館さんから、貸衣装の部門を引き継ぐことになったのがきっかけ。また当時柳町のスタジオが手狭になっていましたし、『街における役割』も意識していました。例えばここで衣装を借りていただいて、柳町で撮影をして、佐嘉神社でお参りをするという流れ。こんな流れを作れば、街なかに人を歩かせるポジションとして悪くないかなと」。こう話すのは代表の笠原さん。彼が手掛ける写真館は、今一般的なそれとは少し様相が異なります。撮影で重視するのは「映え」よりも、相手の「肖像」「人生」を撮ること。写真をきっかけにして、家族同士の関係性や背景といった「価値」への意識を大事にする。確かにメインの写真からは、ダイレクトにそれが伝わってきます。この点が、まさにここで写真を撮る魅力の一つのかもしれません。

## PR

### 私という家。

積水ハウス株式会社 西九州支店



▲園がある称念寺の境内では子どもたちが元気に遊んでいます



▲職員さんと一緒においしそうにご飯を食べる幼児の姿が見られました

## 07 STUDIO

### 街と子どもたちを見つめ続ける施設

佐賀清光園

記者  
気ままなママチャリライター  
高橋香歩

新しい動きによりさまざまな変化が起きている呉服元町。多くの人が集う一方で、昔から変わらず街と子どもたちを見つめてきた施設がそこにはあります。子どもの本屋ビブンから少し北、400年以上の歴史を持つ称念寺の境内にある「佐賀清光園」。佐賀県内に6か所ある児童養護施設の一つで、明治34年にお寺の住職有志で発足した施設由来しています。何らかの事情により親元で暮らせない2歳から18歳までの子どもたち26人が、ここから学校や幼稚園に通うなど家庭のように生活しています。園長は称念寺の西門明純住職。以前は子どもたちを銀天夜市に連れて行ったり、かつての子ども会で交流したり街とのつながりもありましたが、今は地域の催しなどにはなかなか参加できないそうです。子どもと対話する時間の減少、児童虐待の増加、進学の困難など、施設の現状もお聞きしました。創立から1000人以上の児童を受け入れ、心のふるさととしての役目を担ってきた園があることを知り、この街で子どもたちが楽しく安心して暮らせる居場所の一つになればと思いました。

[INFORMATION]  
児童養護施設「佐賀清光園」(社会福祉法人 佐賀清光園が経営主体)  
0952-23-3295 ● 佐賀市呉服元町5-18

